

事務事業評価の評価結果について（平成27年度の事業に対する評価）

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	一般事務事業	健康志向の高まりや余暇時間の増大などにより、より健康的で活力のある人生を送ろうという市民の問い合わせ、相談等に迅速で適切な窓口対応を実施します。併せて事務所の維持管理と事務環境の向上に努めます。	平成27年度予算額からの削減率	経常経費以外の一般事務費の削減率を目標とします。	1%	-20%		パッカー車廃止に伴う自動車修繕料等が不要となったため。	3	事務の効率化により経費節減に努めていることと併せて、パッカー車の廃止に伴い自動車修繕料等が支出されなかったことによる。	現状維持	効率的な窓口事務に努め、市民へのスポーツに関する情報提供を一層工夫すると共に事務管理経費の節減を図ります。
スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーション振興事業	スポーツ・レクリエーション活動を通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを推進します。また、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興のため、スポーツ教室の開催や各種団体への活動支援などに努めスポーツ・レクリエーション振興を図ります。	スポーツ・レクリエーション活動の振興の指標として、主要な大会等のイベントへの参加者数を定める。	スポーツ・レクリエーションの振興のため、各種取り組みを進めることで、市民が週に1日以上スポーツを行っている人の割合を増加させます。ただし、毎年数値の確認が出来ないため、補足的に主要なスポーツ大会、教室などのイベントの前年度参加者数を上回ることを指標とします。	15,996人	16,579人		平成27年度より、多少参加者が減少しましたが、引き続き参加者の増加をめざします。	3	本年度は、平成30年インターハイ、平成33年三重国体を視野に入れたスポーツ競技力の向上事業として、テニス世界大会4大会などで活躍された元プロテニスプレーヤーの沢松奈生子氏を指導者に迎え、市内小学生を対象とした「ステップアップスクールin津」を開催。また、昨年度に続き吉田沙保里杯津市少年少女レスリング選手権大会を開催し、全国から昨年度を上回る参加者があり盛況に開催することができた。また、津シティマラソン大会等の各種大会・教室、イベントの開催やスポーツ奨励の補助、各種団体への支援などの実施により、多くの市民等がスポーツ・レクリエーション事業に参加いただきました。	拡充・充実	市民のスポーツニーズに対応した多様なスポーツ・レクリエーションの場を趣向を凝らして提供します。また、平成28年度については、平成30年インターハイ、平成33年三重国体を視野に入れて、津市のスポーツ競技力を向上を目的とした事業を引き続き実施します。
スポーツ振興課	スポーツ推進委員関係事業	市民のスポーツ・レクリエーション活動促進のための実技指導や組織を育成するとともに、地域住民に対しスポーツ・レクリエーションに関する指導や助言を行い、本市における地域スポーツの推進を図ります。		地域のスポーツ振興の推進役である委員個々の資質向上を図るための研修を年間10回以上開催し、スキルアップにつなげます。	10回	16回		地域でのニュースポーツの普及等のため、委員個々が高い志を持って研修に参加し、スキルアップを図ることができました。	4	地域のスポーツコーディネーターとして地域でのスポーツ事業等に係る指導及び助言を行うとともに、各種研修会に参加しました。また、自主的に研修会を開催し、委員の個々の資質向上を図りました。今後もそれぞれの地域で実情に応じたスポーツ推進を図れるよう、個々の資質向上に努めます。	現状維持	委員それぞれが、各地域の実情を鑑みながら各種スポーツ事業に積極的に取り組むとともに、全市的なスポーツ事業の企画運営を行っています。平成30年にインターハイ、平成33年に国民体育大会の開催が予定されており、全国規模の大きな大会運営の中核を担えるスキルを身につける必要があります。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	体育館管理運営事業	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 競技場を使用したバレーボール、バドミントン等の他、会議室を使用したエアロビクスや健康体操等、主に屋内スポーツの振興を図るものです。	運動施設利用者数	津市体育館の利用者数（平成24年度実績78,846人の1割増）。	78,846人	79,984人		平成26年度より増加し、目標値に達成しました。引き続き利用者の増加を目指します。	4	バドミントン、卓球、バレーボールの一般公開の継続。	現状維持	指標目標を達成できましたので、産業・スポーツセンターへの機能移転に向け、更なる利用者の増加に努めます。
スポーツ振興課	野球場管理運営事業	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 また、野球等の市民スポーツの振興とともに、高校野球等集客性の高い試合の誘致による、コミュニティの拡大、中心地域の活性化を図ります。	運動施設利用者数	津球場公園内野球場の利用者数（平成24年度実績26,365人の1割増）	26,365人	23,806人		平成26年度に対し利用者減となりましたが、引き続き指定管理者との連携や施設の機能向上に努め、目標達成します。	2	利用者が不便なく利用できるよう駐車場の整備やグラウンドの機能向上等に努めます。	現状維持	高校野球地区予選等例年集客が見込まれる大会だけでなく、その他の大会やイベントの誘致、指定管理者との連携強化など改善が必要です。
スポーツ振興課	グラウンド管理運営事業	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 それぞれの施設の規模が小さいので大会等の開催はほとんどありませんが、軟式野球・ソフトボールを中心とした屋外スポーツの振興を図ります。	運動施設利用者数	津市北部運動広場、津市南部緑地公園内運動広場、津市乙部公園内運動広場、津市西部運動広場の利用者数（平成24年度実績12,591人の1割増）。	12,591人	12,585人		平成26年度に対し、利用者減となりましたが、引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理に努め目標達成します。	2	グラウンドによっては駐車可能台数が少なく、利用するには不便である箇所や、経年劣化により施設状態が不良となっている箇所があるため、必要性に応じた修繕等機能向上に努めます。	現状維持	利用者が安全・安心に利用できるよう修繕が必要な箇所等については、積極的な修繕を行い目標達成に努めます。
スポーツ振興課	テニスコート管理運営事業	スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。 硬式テニス・ソフトテニス共に個人の使用からスポーツ教室、市民大会等、幅広い目的で利用されており、今後も市民に身近なスポーツ施設となるよう維持・管理を行いスポーツの振興を図ります。	運動施設利用者数	津市古道公園内テニスコート、津市古河公園内テニスコート、津市入江公園内テニスコートの利用者数の合計。（平成24年度実績54,807人の1割増）	54,807人	48,037人		古道公園内テニスコートにて芝張替工事を行ったため、若干数の減少となりました。	3	古道公園内テニスコートの一部コートにて芝張替工事を行った。残りコートについて、28年度同様に芝張替工事を行うことからより良い施設環境を利用者に提供できると考えられるが、一部駐車場の不足等が懸念されるため、引き続き機能向上に努めます。	現状維持	芝張替等工事を行ってはいるが、駐車場の不足等以前課題は残っているため、引き続き可能な限り整備に努め、利用率の向上を目指します。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	プール管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>近年のプールは水泳（競技）目的のみならず、水中ウォーキング等の健康づくりにも利用されており、水泳の振興、市民の健康増進を図ります。</p>	運動施設利用者数	津市民プールの利用者数（平成23年度実績69,769人の1割増）。	71,000人	73,279人		平成26年度に対し、利用者数増となりました。引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理に努めます。	3	利用者数は増加となっているが、施設は老朽化が進んでいるため、引き続き産業・スポーツセンターへの機能移転まで必要に応じた整備が必要な状況であります。	現状維持	産業・スポーツセンターの供用開始まで約1年半となっているため、大規模な改修は避け、利用者の安心・安全に配慮し、必要に応じて整備を行っていく。
スポーツ振興課	その他運動施設管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>海浜公園内陸上競技場は陸上競技場の他、市内で唯一の芝が張られたサッカー場もあり、大会等の誘致を図り、競技振興と交流の機会づくりを図ります。</p>	運動施設利用者数	津市海浜公園内陸上競技場及びテニスコートの利用者数（平成24年度実績14,076人の1割増）。	16,836人	18,018人		平成26年度に引き続き指定管理者の自主事業等の努力により、平成26年度より1割増となった。引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理に努めます。	4	目標は達成できているが、引き続き指定管理者と連携し、利用率の増加、施設整備に努めます。	現状維持	利用率は徐々に向上しているが、施設については、老朽化が進んでいるため、引き続き必要に応じた整備等機能向上に努めます。
産業・スポーツセンター推進室	産業・スポーツセンター整備事業	<p>本市のスポーツ施設については、老朽化した小規模な施設が多く存在し、全国規模の大会等が開催可能で市民の健康増進やスポーツ等を通じた交流の拠点となる施設が少ない状況にあります。</p> <p>そこで平成22年5月に「津市スポーツ施設整備基本構想」を策定し、地域の核となる施設の整備や、総合的なスポーツ施設として大規模大会等が開催可能な拠点となるスポーツ施設の整備方針をとりまとめています。この基本構想を踏まえ、平成23年9月に「津市屋内総合スポーツ施設基本計画」として、総合的な屋内スポーツ施設の整備に向け具体的な計画策定を行い、その計画に基づき平成29年10月1日の施設供用開始に向けて事業を推進するものです。</p>	津市産業・スポーツセンターの工事進捗状況	津市産業・スポーツセンター建設工事の進捗状況	18.4%	25.1%		本体建設工事については、平成28年3月末現在の進捗状況は25.1%であり順調に進んでいます。	4	本体建設工事については、平成27年4月1日より着工し、順調に工事が進んでいます。また、西側駐車場の舗装工事については、予定通り実施できた。	現状維持	平成29年10月1日の施設供用開始を目指して、長期に渡る工期の建設工事を計画的に進めます。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見	
産業・スポーツセンター推進室	産業・スポーツセンター経営企画事業	津市産業・スポーツセンターの供用開始に向けて、スポーツ施設と産業展示施設の一体的な管理運営について、行政視点だけでなく、民間ならではの経営感覚をもって、管理運営・経営手法に関する分析、調査を行い、それに基づく収支想定も含めた民活手法の指定管理者制度の導入を中心に一連の検討、整理についてアドバイザー業務委託を行い進めます。 また、既に指定管理者制度の導入などにより先駆的な管理運営、経営手法を実施している先進地を視察、検証することにより、民活手法を取り入れる方策を検討します。	津市産業・スポーツセンターの供用開始に向けた経営企画項目の達成度	一体的な施設供用開始に向け、年度毎に定性的目標を定め、その達成度を計る。				指定管理者公募の円滑な実施	指定管理者の公募・選定・指定を行いました。	4	指定管理者の公募、選定、指定について、円滑に事業を遂行することができた。 その結果、平成28年4月1日から津市スポーツ・メッセネットワーク（美津濃株式会社、ミスノスポーツサービス株式会社、国際警備保障株式会社）による施設の管理運営を行うこととなりました。	廃止	指定管理者の公募、選定、指定業務の完了により、本事業は廃止することとします。（産業・スポーツセンター維持管理事業に統合）
産業・スポーツセンター推進室	産業・スポーツセンター維持管理事業	津市産業・スポーツセンターの供用開始に向け、平成28年4月1日より新たな指定管理者による管理運営を行います。民間企業のノウハウや創意工夫に基づいた管理運営により、より質の高いサービスを利用者に提供することで利用者確保とともに、管理経費等の削減を図ることを目的とします。 また、既存のメッセウイング・みえについては、現状を把握したうえで長期修繕計画に基づき修繕・点検等を実施し、利用環境の向上を図ります。	津市産業・スポーツセンターの維持管理に向けた整備項目の達成度	平成28年度より新たな指定管理者により管理運営が行われる津市産業・スポーツセンター利用者数を目標と定め、その達成度を計ります。				平成5年施設供用開始であるメッセウイング・みえの計画的な維持修繕を実施します。	空調設備点検業務等の実施	3	メッセウイング・みえの長期修繕計画に基づき、空調設備の点検業務等を実施することができた。 なお、修繕については市の負うべきリスクによって行うべき緊急的なものが無かったため未実施となりました。	拡充・充実	平成28年4月1日より新たな指定管理者による管理・運営になることから、定期的なミーティングやモニタリングを実施することで管理・運営状況や課題等を的確に把握し、サービスの一層の向上・改善につなげていくよう指定管理者に指導・助言等を行う。 また、メッセウイング・みえについては、現状把握と長期修繕計画に基づき、優先順位をつけ修繕を実施します。
産業・スポーツセンター推進室	産業・スポーツセンター誘致・PR事業	平成29年10月1日に施設供用開始予定である津市産業・スポーツセンターの施設のPRを行うとともに、各種スポーツ大会、産業振興及びオープニングセレモニーも含めたイベント等の事業誘致を行います。	全国規模の大会等の誘致	指定管理者と連携しながら津市産業・スポーツセンターで開催する全国規模のスポーツ大会、興行、産業振興事業等の誘致活動を進めます。	15事業	70事業			屋内スポーツ競技団体を中心に訪問し事業誘致を実施し、全国大会4大会、ブロック大会14大会、県大会52大会が開催される見込みとなった。	3	オープニング期間に係るスポーツ大会等の誘致やオープニングイベントへの出演交渉について円滑に進めることができた。また、各種広告媒体等を活用し、施設のPRを図ることができました。 平成28年度からは指定管理者と連携・共同しながら、新たな事業の誘致やPR活動を推進する必要があります。	拡充・充実	平成28年度から新たな指定管理者による施設の管理運営となることから、民間のノウハウを活用していただき、新たなイベント開催に向け積極的に取り組んでもらうよう働きかけます。 また、指定管理者だけではなく、商工観光部との連携や三重県の協力体制（三重テラス等でのPR）を図りながら市民の皆様楽しんでいただくイベントが開催できるよう努めます。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
国体・障害者スポーツ大会準備室	国民体育大会等準備事業	三重県において、平成33年に開催される第76回国民体育大会及び第21回全国障害者スポーツ大会、並びに平成30年に開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に向けて、会場地市町としての準備を進めます。	先催県開催地視察回数	国民体育大会の津市開催に向けた諸準備の中核組織となる準備委員会の設立開催は最重要課題である。さらに本年度三重県において設立された全国高校総体実行委員会を受けて平成29年度に津市としても実行委員会を設置する必要がある。これらの開催及び準備を指標として設定します。	13回	9回	・設立準備委員会開催に向けた発起人会の開催（8月頃） ・設立準備委員会開催（11月頃） ・準備委員会常任委員会の開催（2月頃） これらを国体開催に向けた準備業務として進めていく。	目標値を下回ったが、本市開催予定の国体及びインターハイ競技会場先催地視察を実施し、調査・研究を行うとともに、和歌山市事業概要説明会にも参加するなど、今後の業務推進に役立つ情報を得ることができた。	4	本市開催予定の国体及びインターハイ競技会場先催地視察をし、調査・研究を行った。また、和歌山市事業概要説明会に参加し、運営ノウハウと事業推進における課題等についての情報収集に努め、十分な成果を上げることができた。	拡充・充実	平成33年第76回国民体育大会及び第21回全国障害者スポーツ大会、並びに平成30年全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催に向けて会場地としての準備を進めるため、引き続き先催地視察を行う。さらに開催準備に万全を期すため、国体津市準備委員会を設立するとともに、平成29年度の全国高等学校総合体育大会津市実行委員会設立に向けた準備を進めるなど、今後年次的に多岐に渡り業務を拡充していく。
文化振興課	津リージョンプラザ管理運営事業	津リージョンプラザは、市民の文化、芸術の鑑賞や発表、練習の場として活用していただくことにより、市民の教育、文化等の向上を目的としています。貸し館事業として、主に市民を対象にお城ホール、展示室、ギャラリー及び会議室を10か月前から予約受け付けをして、貸出しを行っています。	利用率	人件費を始め経費の削減を図り、利用者の利便性に供する施設を目指すとともに、利用率の向上に努めることとし、一つの目安となる3/4の施設利用率を目標とします。	75%	お城ホール 平日 63.9% 土・日・休日 97.4% 全日 77.6% リハーサル室： 87.0%	建物・施設の老朽化が著しいことから、平成18年度から、緊急性の高いものから計画的に設備等の大規模改修を行っているが、今後も安定的な運営が出来るように適切に維持管理を行っていきます。	計画的に修繕を実施することにより、休館せず運営が可能となり利用率の目的は達成できました。	3	施設の老朽により、管理運営に苦慮しているところだが、利用者の利便性に資するため、津リージョンプラザ中長期修繕計画に基づき、施設の整備活用を行っていきます。	現状維持	老朽した建物、施設の改修を行い、利用率の向上を図ります。
文化振興課	文化振興事業	住民の誰もが文化に触れ、親しみ、互いに交流ができ、文化を生活やまちづくりに活かすことを目指し、文化芸術活動の充実、歴史的資源の活用及び文化施設の有効活用を重点施策として推進します。	参加者数	多くの来場者で賑わい、人と人の交流する機会が生まれる場所では、文化意識の高揚がさらに図られ、新たな文化意識も芽生えと考えられ、まちも活性化すると思われることから参加者数を指標にします。	63,850人	63,332人		まちづくり事業の成果もあり、一身田寺内町への来訪者数が多かったこと、その他の事業も概ね目標に近い来場者、参加者があったことによる。各事業とも周知に努力の余地あり。	3	本市の文化振興の基本になる文化振興計画において、基本理念を「文化の継承、創造、交流による元気なまち「津」をめざして」と定め、心豊かな地域社会の実現に向けて、文化芸術の振興、地域文化の振興に努めることとしており、市民の文化活動発表の場として市民文化祭及び美術展覧会をはじめ、子どもたちが自ら企画運営する青少年文化芸術祭の開催など、諸事業の実施により文化的な環境づくりを推進しました。	現状維持	文化振興計画の改訂を行い、平成26年度から平成29年までの新たな目標が設定されたことから、その方針に則り、新たな事業展開を図っていきます。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成27年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成28年度以降の事業の方向性	所見
文化振興課	文化振興基金事業	豊かな文化を育み21世紀に躍動する美しい京都の実現をめざして、文化振興基金運用益を活用し市民や市民文化団体が育む活動を支援します。(文化振興計画(1)-②-8、-9)	文化事業への助成金の交付件数	より活発な地域の文化団体や個人の文化事業活動の促進が、図られることから、助成金の交付件数を目標値に設定しました。	10件	4件		申請数4件のうち、助成数4件を選考した。	3	多くの文化団体等に基金の趣旨を理解いただき、事業を展開することで市民の文化活動の促進ができた。今後も、基金を利用した事業補助の制度をPRし、市民の文化芸術活動を支援していく。また、自主事業として実施した羽田朝子記念映画上映会を今後も継続して実施していく。	現状維持	津市文化振興基金活用事業は、文化の向上に寄与すると認められる市民や市民文化団体の活動に対して助成を行っており、更に、より多くの市民および市民文化団体に、助成事業を認知してもらえるように、周知を図っていききたい。自主事業については、今年度は4年目となり、市民へ定着してきた事業と感じる。テーマ性を持った作品選定ではなく、各地域の希望する映画の選定・上映となった。今年度から新たにバリアフリー映画として、日本語字幕付きの映画も上映した。バリアフリー映画については、今後も継続していききたい。
文化振興課	文化ホール管理・企画運営事業	住民の利便性を重視した有効活用を図るため、文化、芸術活動の拠点、施設間の連携、住民サービスの向上など効果的な運用方法についての検討を行います。(文化振興計画3-1-4)	指定管理者制度導入館数	文化ホールの在り方に基づく修繕計画の策定を指標とします。	3館	0館		文化ホールの指定管理者制度への移行へ向けて具体的な検討を行ったが、目標達成には至らなかった。	3	民間のノウハウを取り入れた文化事業を開催することで、文化ホールの在り方の策定検討に活かされた。	見直し	※文化振興推進事業（鑑賞事業）として実施
文化振興課	ホール整備事業	久居駅周辺地区のまちづくりにおける久居東鷹跡町エリアでのまちづくりビジョンに基づき、文化ホールの整備を行います。	(仮称)津市久居ホールの建設に向けた準備項目の達成度	平成31年度の施設供用開始に向けた諸準備を進めていく過程で年度毎に準備項目を設けてその達成度を計ります。				(仮称)津市久居ホール基本設計図書の提出を受けた。建設検討委員会及び管理運営検討委員会を3回開催。住民説明会を2回開催事業認定申請書作成業務委託	3	(仮称)津市久居ホール整備に向け、一昨年策定した「(仮称)津市久居ホール整備基本計画」や、昨年提出を受けた「(仮称)津市久居ホール有識者委員会意見書」を基に、設計業務委託業者選定のためのプロポーザルの実施をするとともに、建設検討委員会及び管理運営検討委員会では、基本設計を進めていく上での方向性の検討を行いました。また、建設検討委員会及び管理運営検討委員会での意見を反映し、設計委託業者による(仮称)津市久居ホール基本設計図書の提出を受けました。	現状維持	実施設計に向け、建設検討委員会からの意見聴取及び設計者との調整。(仮称)津市久居ホールの管理運営計画策定に向けた支援業者選定のプロポーザルの実施、駐車場用地確保に向けた各種手続きなど、(仮称)津市久居ホール整備事業を計画的に進めます。